

# 現代幾何学への道

## 多様な世界の統一理解

無限に登り続ける階段が存在する！三角形の内角の和は180度ではないかもしれない！止まって見ても動いて見ても光の速さは変わらない！世界の見方一つで幾何学が変わる。今まで習ってきた幾何学のアップデートが必要だ。内側と外側の区別がつかない容器”クラインのツボ”の設計者である天才数学者クラインは、23才の時に『エルランゲンプログラム』として新しい幾何学のあり方を提示した(当時、クラインは23才ですでにドイツのエルランゲン大学の教授だった)。クラインの考え方を参考にして、多様な幾何学の世界の理解の仕方を考えてみよう。



日時

2021年11月6日(土) 入場開始13:00~  
13:30~15:00

講師

糟谷 久矢 先生(大阪大学)

場所

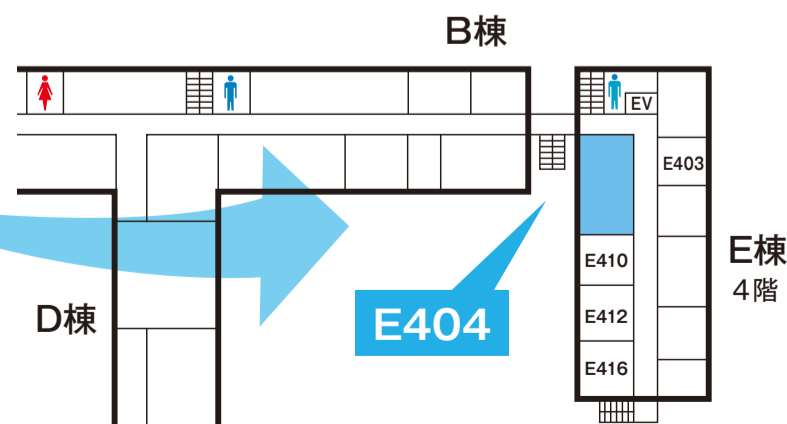
理学部E棟4階 E404  
大セミナー室

※満席の場合サテライト会場E301にご案内します。

問い合わせ先

理学研究科 数学専攻事務室  
E-mail : kouhou@math.sci.osaka-u.ac.jp

参加費は不要です。参加希望の方は右記フォームにて登録をお願いします。またZoomを使いオンライン配信も行います。登録後ZoomのURLをお送りします。



会場へは大阪モノレールの「柴原阪大前駅」、または阪急宝塚線の「石橋阪大前駅」が最寄り駅です。柴原阪大前駅から徒歩5分、石橋阪大前駅からは徒歩25分で着きます。